

特別会計… 国民健康保険や介護保険などの 使い道が決まっている会計

区分	予算額
国民健康保険	68億7,400万円(0.3%減)
後期高齢者医療	15億8,600万円(9.5%増)
介護保険	65億1,200万円(6.6%増)
土地取得	2億6,900万円(465.1%増)
財産区財産	1,900万円(13.6%減)

特別会計の予算総額は、**152億6,000万円**で、前年度に比べ**7億3,840万円(5.1%)の増加**となりました。

公営企業会計… 民間企業のように下水道使用料 などの収益で運営している会計

区分	予算額
下水道事業	36億6,739万6千円(17.2%増)

公営企業会計の予算額は、**36億6,739万6千円**で、前年度に比べ**5億3,739万8千円(17.2%)の増加**となりました。

令和8年度当初予算の総額
518億5,239万6千円

一般会計	329億2,500万円(4.7%減)
特別会計	152億6,000万円(5.1%増)
公営企業会計	36億6,739万6千円(17.2%増)

性質別経費

歳出を経費ごとに経済的な性質を基準として分類したものを「性質別経費」といいます。

令和8年度の歳出を「性質別経費」で分類すると次のようになります。

義務的 経費	扶助費	93億6,068万円
	人件費	53億7,885万円
	公債費	29億2,914万円
消費的 経費	物件費	51億1,504万円
	維持補修費	1億9,770万円
投資的 経費	普通建設 事業費	29億9,940万円
その他 の経費	補助費等	33億9,357万円
	繰出金	31億1,869万円
	積立金	3億8,074万円
	予備費	5,000万円
	貸付金	120万円
合計		329億2,500万円

扶助費、人件費、公債費の義務的経費については、前年度に比べ9億8,607万円(5.9%)の増加となっています。扶助費は、障害福祉費の増加などにより、3億4,802万円(3.9%)の増加となっています。

物件費、維持補修費の消費的経費は、9億6,311万円(15.3%)の減少となっています。物件費は、備品購入費の減少などにより、9億8,852万(16.2%)の減少となっています。

普通建設事業費の投資的経費は、国の補正予算による事業の前倒しなどにより、23億9,745万円(44.4%)の減少となっています。

用語解説～【歳出編】予算の使い道～

民生費	保育所の運営費や子ども医療、高齢者などの福祉に使う経費
教育費	小・中学校や図書館の運営などに使う経費
土木費	道路や河川、公園の整備などに使う経費
総務費	職員や施設に対する全般的な管理などに使う経費
公債費	国や銀行などから借りたお金の返済に使う経費
衛生費	ごみ処理、病気予防などに使う経費
消防費	消防活動、防災関係に使う経費
農林商工費	農業の振興、中小企業の応援、就労に関する事業などに使う経費
議会費	市議会の運営に使う経費